

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平田字森越 12-28-2F
TEL017(752)0171 FAX017(752)0170 URL/http://www.aomori.doyu.jp E-mail/info@aomori.doyu.jp

ザ・就職座談会

2019/11/19 参加学生11名/企業6社(WING掲載企業)
参加感想文/(有)オクト 常務取締役 鹿内麻矢氏

就職が内定した、青森市内の青森大学・青森公立大学・青森中央学院大学の学生11名と座談会を行いました。内定が決まった学生との交流は中々ないもので、これからの共同求人に向けてとても参考になったと感じました。

まず私が感じたのは、今の大学生ってこんなにもしっかりしているのかと。そして、とても現実的でした。私が20歳くらいの時は、産休や育休について考えるどころか、そんな言葉さえ知らなかったと思います。

生徒の中にスポーツを本気でやっている子がいました。そのため実業団のある会社を探していて、いくつかあったが、スポーツができなくなった時のことも考えて会社と仕事を決めたとっていました。見習いたいくらい、すばらしいと思いました。ただ、少しだけ残念だったのは夢を聞いた時に、特になくて答えられない生徒が殆どだった点です。夢じゃ食べていけないのかもしれないけど、夢をもってほしいものです。

現代の就活の仕方にも、やはり時代の流れがあるようで、冊子は殆どと言っていいほど読まないと言っていました。スマホのアプリで説明会やインターンシップの日程や内容を調べ、SPI(※)を受けるのが一般的だそうで、参加した学生全員がSPIを受けていました。

これからは中小企業でもSPIを参考に、よりマッチする社員を採用することが可能になるのかもしれない。その前にまずは県内企業を知ってもらうコンテンツをアプリで行わなければならない時代なのでしょう。WINGを見てもらい、「知っている会社はあり

ますか？」と聞いたところ、私がいたテーブルでは、全員が「1社しか知らない」と答えていました。頑張ろう県内企業！

(※) SPI…企業が採用を行う際、応募者の能力や人となりを把握する目的で「適性検査」と呼ばれるテストを行う場合があります。その適性検査の一つで、リクルートキャリアが開発したものです。

八戸支部 11月例会



◆報告者◆

ササキ石油販売(株)

代表取締役専務

佐々木 佳弘氏 (十和田市)

2019/11/25 参加 28名

『共育ち』

佐々木さんは地域の学校へ、エネルギー関連の道具を持参して講座を行う「出前講座」を10年以上も継続しており、上十三地区の学校は全て回ったそうです。

本業の石油やガスに関連するエネルギーをテーマとした講座は、理科や化学実験を実施して子供たちのワクワク感や想像力を高める工夫をされているそうで、今回の例会でも簡単な方法で金属の熱伝導率の違いを体感することが出来、子供じゃなくてもワクワクしました。教えることは教わることにつながり、社員も人前で話すことで成長しているのが嬉しいとのこと。

地域の子供たちのために少しでも貢献できるようにとスタートしたことが、結果的に自分の会社の成長にもつながっていると話す笑顔の佐々木さんがとても印象的でした。同友会の「共育ち」そのものですね。

記/(有)トランスクリタ 取締役社長 栗田岬知

同友会でどう学び、 自社にどう活かすか



◆報告者◆

(株)メガネマーケット

代表取締役

久賀 きよ江氏（埼玉県）

2019/11/27 参加 66 名

◆経営における様々なヒント

報告者であります久我きよ江社長の講話を拝聴しました。独立の経緯からトントン拍子に拡大していった成長期、そして「元々雑貨屋から拡大した安売り業者の参入で眼鏡市場^{めがねしじょう}の売り上げ規模が8,000億円から3,900億円になってしまった！」との凄まじいお話から補聴器販売への業務拡大、そして子供向けに特化した眼鏡ストアの開設まで、まだまだ話し足りないという内容に圧倒された報告でした。

「人育ては育つ環境づくり」「一行日報」「経営には必ず女性的感性が必要」「発展する企業は環境対応型経営」等々。そして立教大学山口教授から教わったという「隣接異業種への進出」と経営における様々なヒントを頂きました。

お客様から「ありがとうと言われる喜び」は弊社としても今後も更に深めていきたいと強く思いました。元気な女性経営者が集まる青森、との認識を新たにした夜でした。

記/(株)白鳥プロパン 代表取締役社長 白鳥五大



障害者問題全国交流会in滋賀 報告



◆報告者◆

(有)ローズリー資源

代表取締役

田中 桂子氏（青森市）

2019/12/12 参加 35 名

◆「かわいそう」から「もったいない」へ

パラダイムシフトという言葉聞き、それは今までの当たり前常識と思っていた考えをシフトしていくことだと感じました。

障がい者を『かわいそう』から『もったいない』と考え方をシフトしてみると、障がい者に対する見え方、考え方が変わりました。障がい者という偏見もおかしな事で、健常者であっても一人ひとり個性があり、その個性に反発するのではなく、理解し受け入れることで共に成長していける関係性が作れるのではないかと今回の田中さんの報告で気づかせていただきました。

障がい者雇用には以前から関心を持っており、社内でも話題にしていたので、どうにか当社にあった雇用ができないかと模索しながら、現場で一緒に働くことになる仲間と進めていきます。

また、協力雇用主制度を今回初めて知ることができましたので、勉強しようと思います。

記/(有)佐藤鉄筋興業 佐藤 寛子



青森支部12月例会

地域を支える100年企業の姿



◆報告者◆

(株)青工

取締役 青森支店長
工藤 光治氏（青森市）

2019/12/17 参加41名

◆例会に初めて参加して

この度、初めて青森支部例会へ参加させて頂きました。(株)青工の100年の沿革と工藤様の会社員そしてプライベートでの経験談や活躍ぶりをお聞きしました。

その報告の中で、『伝える』事を大切にするという言葉がありました。一言で『伝える』といってもお互いに理解するとなると、簡単なようで非常に難しいのかなと考えさせられました。報告後のグループ討論でも同じような話が出ました。そしてグループ内の様々な職種の方と色々なお話ができた事は大変勉強になりました。職種が違っていても、会社の長所や課題等が共有できた事も驚きでした。

今後も、例会等に参加させて頂き、よりよい会社へする為にどのような事したらいいか、地域へ貢献できる会社にする為にはどうしたらいいか等、会員の皆様と一緒に勉強していきたいと思いました。

記/藤林電気(株) 工務部部長 高橋 玲治

津軽支部12月例会

最高の一杯のために ～味磨きは自分磨きから～



◆報告者◆

中華そば きた倉

代表

北田 晴輝氏（青森市）

2019/12/18 参加8名

◆「当たり前なことを、当たり前だと思わない」

北田さんの十代の頃のラーメン屋でのアルバイトは聞いているだけでも、とても過酷なものでした。しかしその時の経験から現在のきた倉は他のラーメン屋と比べ、労働環境をしっかりと整えるように努め、ラーメン屋の常識を覆して健全な労働環境にしているというのは大変驚きました。

創業後、経営がうまくいなくなり閉めようとしたこともあったという話ですが、そんな時いつも支えてくれる人がいたというのは北田さんの人柄だろうと感じました。

経営指針策定後、社内では元々行っていなかった視察や研究を社員と共有し、資格を共に取得したり、同業他社はライバルではなく仲間という考えから積極的に連携をとる等、周りの仲間と取り組むものばかりになったのがとても印象的でした。

最後になりますが、報告中に北田さんが自社で当たり前だと思っている事が実はとても特別なことかもしれない、という意味で何度も言っていた「当たり前なことを当たり前だと思わない」という言葉を自社に置き換えて考えていこうと思いました。

記/ (有)平賀浄化槽センター 取締役 棟方 亮



11/22 津軽支部・女性部会青森津軽地区合同例会



12/5 上十三支部 12月例会



12/6 下北支部望年会



1/8 青森同友会役員と事務局懇親会

12 月理事会報告 於:事務局 2019.12.3(火)

1)報告事項

●青森同友会の各種実施事業と全国行事について

- ①2019 ネクストリーダー1 日研修
- ②女性部会全県及び青森・上十三両支部 11 月例会
- ③北海道同友会創立 50 周年記念式典
- ④中同協新春幹事会
- ⑤第 50 回中小企業問題全国研究集会 in 京都
- ⑥2020 新春例会 in 青森

●青森同友会3カ年ビジョン策定について

●11 月入退会報告

2)審議事項

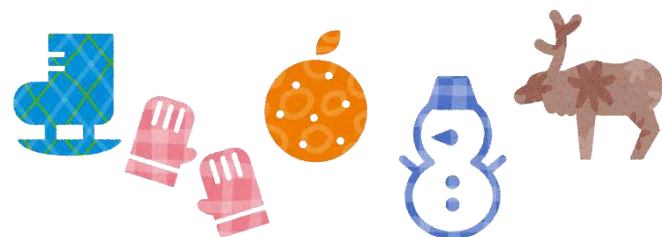
●2020 新春例会 in 青森について

●名義後援等の依頼について

●全県を挙げての会員増強について

●各支部、委員会からの報告

会員数 394 名／入会 1 退会 0 社



1 月理事会報告 於:竹林坊 2020.1.8(水)

1)報告事項

●青森同友会の各種実施事業と全国行事について

- ①第 3 回中同協新春幹事会
- ②第 50 回中小企業問題全国研究集会 in 京都
- ③2020 新春例会 in 青森

●12 月入退会報告

2)審議事項

●2020 新春例会 in 青森について

●青森同友会3カ年ビジョン策定について

●経営指針を創る会運営委員会について

●第 23 回定時総会について

●全県を挙げての会員増強について

●各支部、委員会からの報告

会員数 395 名／入会 4 退会 3 社

【次回開催日】2020 年 2 月 4 日(火)14:00~/事務局会議室